

# 神奈川病院だより

基本理念 私たちは地域の皆様から信頼される病院づくりに努め常に新しく良質な医療の提供をします

## 年頭所感

院長 根本 悦夫

新年あけましておめでとうございます。

医療を取り巻く環境には相変わらず厳しいものがあります。

昨年末に消費税率引き上げ延期の可否を問うとして衆議院議員選挙が行われ、自由民主党、公明党が大勝するという結果に終わりました。共産党が躍進しましたが、医療に対する政府の方針に大きな変更はないものと思われま

す。エボラ出血熱や鳥インフルエンザも話題になった昨年ですが神奈川病院では二つの大きな出来事がありました。

一つは2月の重症心身障害児(者)新病棟の竣工です。

100床から120床に増床して運営を始めておりますが、新しい病棟は明るく、ご家族の方にも好評のようです。一般病棟の建て替えが次の目標ですが、少々足踏み状態になっております。

二つ目は8月に地域包括ケア病棟を導入したことです。

地域包括ケア病棟は、急性期からの患者さんの受け入れ、在宅・生活復帰支援、施設・在宅からの緊急時の受入を目的とした病棟です。十分な活用は出来ておりませんが、これからますます高齢化社会に向かう日本にとって、地域包括ケア病棟は、病病連携、病診連携を進める上で大いに必要とされる病棟ではないかと考えております。

医師不足、看護師不足は続いておりますが、今年も、MRIやCTスキャンなどの大型医療機器の共同利用、症例検討会を通して、地域の医療機関の皆様との連携を深め、地域医療支援病院として地域の医療に貢献できるよう努めて参ります。

独立行政法人国立病院機構は4月に新たな仕組みの法人(特定独立行政法人から中期目標管理法人)に移行し、現在の国家公務員の身分から非公務員に変わります。身分は変わっても、今まで通り秦野市並びに周辺地域の医療を担っていく方針には変わりありません。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



## 第45号 目次

○年頭所感・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

○見逃したくない脳梗塞の前触れ  
症状『一過性脳虚血発作』・・・・2~3

○地域連携医紹介・・・・・・・・・・・・4

○患者さん参加の医療安全・・・・・・・・5

○栄養一口メモ ~なばな~・・・・・・・・6

○看護師募集・ボランティア募集・・・・7

○各科診療担当表・・・・・・・・・・・・8



皆さんは一過性脳虚血発作というものを御存知でしょうか？ 「知らない」「聞いた事もない」という方も少なくないと思います。一方で「脳梗塞なら聞いた事がある」「知っているよ」という方は多いと思います。実は一過性脳虚血発作とは、いわば脳梗塞の前触れ症状ともいべき現象を表現したものなのですが、その症状が文字通り一過性のために回復してしまうと、それと気づかずによく忘れてしまったりすることもあるようで、やはり専門の医師の判断がなければなかなか理解しがたいものようです。しかし、取り返しのつかなくなる脳梗塞をあらかじめ回避するためにはどうしたらよいかを考える上で、大変重要で見逃せないものなのです。そこで今回は皆様には是非、一過性脳虚血発作とはどういうものなのかを知っておいていただきたく、分かりやすくお話ししてみたいと思います。その結果、脳梗塞に対して一層の関心、理解を深めて頂ければと思います。

そもそも脳梗塞とはどういう病気か？ 御存じの方も多いと思いますが、脳の血管が何らかの原因で詰まってしまうと、その先にある脳細胞に血液が十分に行き渡らなくなってしまい、その脳細胞は本来の機能を発揮できなくなり、いわゆる麻痺などの異常な症状が生じ始めます。やがて必要とする酸素や糖분을供給されなくなった脳細胞は死んでしまい、症状も固定され回復することはなくなります。これが脳梗塞です。ただし脳細胞は、血流が減少すると直ちに死んでしまうものではなく、血液が足りないままのある一定の時間を経てから死に至ります。この血流が減少した状態は脳梗塞とは言わず、脳虚血状態といいますが、幸い虚血状態が一時的であり、血流が短時間以内に再び戻ってくれば脳細胞は死なずに済み、たとえ症状が生じていたとしても、何事も起こらなかったかのように症状は消え、正常な状態に戻ります。

このように一時的な脳虚血状態によって神経症状が生じたものの、幸いなことに血流が回復されたおかげで症状は消失し、完成された脳梗塞に至らなかった、これが一過性脳虚血発作と言われるものなのです。

では、その一過性脳虚血発作において起こり得る、代表的な分かりやすい症状をいくつか取り上げてみます。

- 片方の手足の麻痺、しびれ、足がもつれる（運動障害）
- 呂律がうまく回らない、言葉が思うように出てこない
- 片方の目が急に見えにくくなる、視野が欠ける

以上が典型的によくみられるものといえますが、当然ではありますが脳梗塞の症状そのものです。ただしそれが一時的であり、固定されずに消失してしまう点が完成された脳梗塞と違うわけです。症状自体は数分以内で解消されてしまうこともあれば、数時間後に解消するという場合もあります。

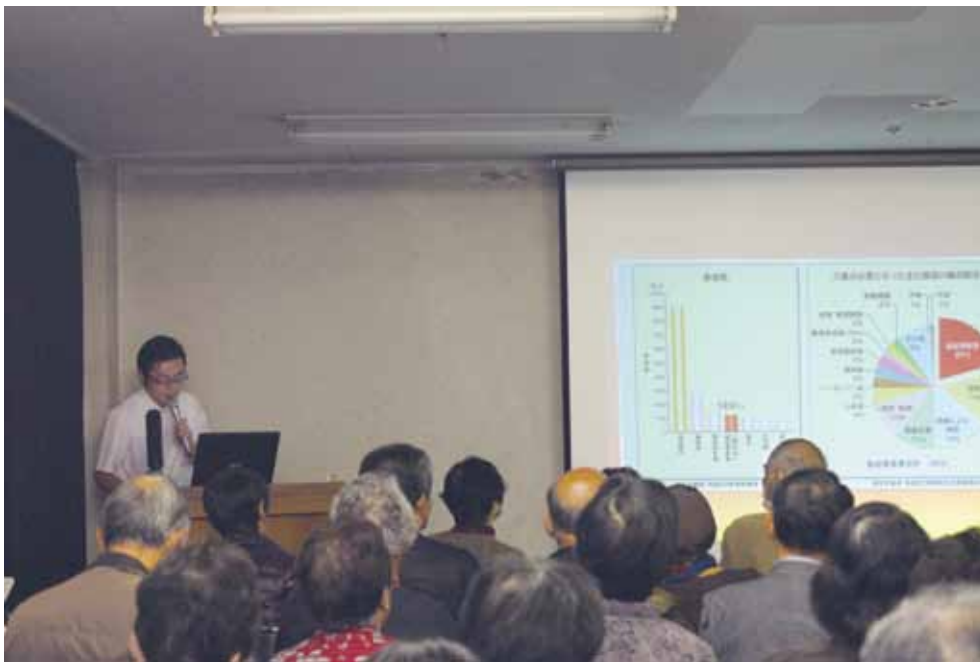
ここで誤解して頂きたくない事があります。それはこの発作が生じるには、それなりの原因があるわけですが、症状が回復しても、原因までが解消されたわけではありません。数分で解消されても1回だけでは済まずに、後々繰り返す可能性もあります。そして、いつもすぐ良くなるからといって症状の繰り返しがあるにもかかわらず放置しておく、やがて大きな取り返しのつかない脳梗塞に至ることも少なくありません。こうなってしまうと、すでに一過性という表現で済まない完成された脳梗塞という事態になっているわけです。

一過性脳虚血発作は脳梗塞に至る前に体が教えてくれる、警告サインの様なものともいえます。しかし見方を変えれば一過性脳虚血発作は、それと速やかに判断し適切な対処や治療に持ち込めば、状況にもよる

すが、完成された脳梗塞回避への大きなチャンスともいえるわけです。

でも本当に脳梗塞の前触れ症状なのかな？と、どうしても迷ってしまうこともあるかもしれません。実のところ病院へ相談にいらっしゃる患者さんの症状をお聞きしますと、すべてが神経学的な症状というわけではありませんし、取り越し苦労だったということも少なくありません。しかしその結果、偶然にも他の病気の発見に至ったり、本当に脳梗塞の前触れ症状であった場合も多いのも事実です。そもそも症状だけでは、患者さんおひとりで正確な診断はできるものではありませんので、これはおかしいな！という症状に気づいたら、迷わずに速やかに専門の医師への受診を強くおすすめします。また症状の状況によっては、救急医療機関の利用も考慮するべきです。その結果、高度な専門的な治療によって劇的に回復できる場合もあるからです。

特に普段から、高血圧・糖尿病・脳塞栓症を起こしやすい不整脈の治療を受けていらっしゃる方は、とりわけ脳梗塞のリスクが高い可能性があります。その場合は、普段からかかりつけの医師に相談しながら、特にご注意くださいいただければと思います。



市民公開講座で講演する筆者

本院は昭和61年9月秦野市戸川に開業致しました。当時この付近は人口も少なく道路には未舗装の部分もあり、医師会の先生には「君の病院は人間よりも狐や狸の方が多所だ」と言われる有様でした。また開業医も少なく、「日曜診療」「早朝診療」「往診」「老人ホーム」の掛け持ちもせざるを得ない状況で、「急変」「重傷」「要精密検査」の患者さんが続出し、その多くを神奈川病院にお願いし引き受けて頂いておりました。

また、偶然にも副院長の前島 潔先生とは大学の同期生ということもあり、無理を承知で多数の患者さんを紹介することが現在も続いていて、諸先生方には心より感謝申し上げる次第です。

我々開業医の仕事の目的の一つは、病院の先生方の外来負担を軽くすることでも有り、日頃お世話になっているばかりで、これが少しでも恩返しになるのであれば幸いです。

今後、神奈川病院の地域における期待と仕事量は増える一方であり、さらに医療タッグを強固なものとして「力まず」「奢らず」「出しゃばらず」微力ながら努力していきたいと思っています。



- 診療科目 内科／小児科／皮膚科／アレルギー科
- 所在地 秦野市戸川605
- 電話番号 0463-75-1121
- 駐車場 有(25台)

○ 診療案内

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
AM9:00~12:00	○	○	○	休	○	○	休
PM3:00~6:00	○	○	○	休	○	休	休



神奈川病院の医療安全管理室の活動内容について紹介させていただきます。

当院の医療安全管理室のメンバーは、医療安全管理室長（副院長）のもと医療安全管理者1名の配置となっており、院内の事故防止活動をとおして患者さん、ご家族、職員の安全を確保し、良質の医療を保証するための活動を行っています。

主な医療安全管理活動として職員への医療安全教育があります。年に2回医療安全に関する研修会を開催しており、平成26年度は災害時の対応について実施しました。研修で得た知識や情報をもとに、神奈川病院防災対策マニュアルの見直しを行うことができました。また、職員の医療安全への意識の向上、医療安全に



関わる具体的方策の実施状況の確認及び周知徹底を目的に医療安全ラウンドを実施しています。医療安全ラウンドはリスクマネジメント部会のメンバーによりグループを編成し、全部署のラウンドを行っています。職員がインタビューを受けることで医療への安全を再認識することにも役立っています。

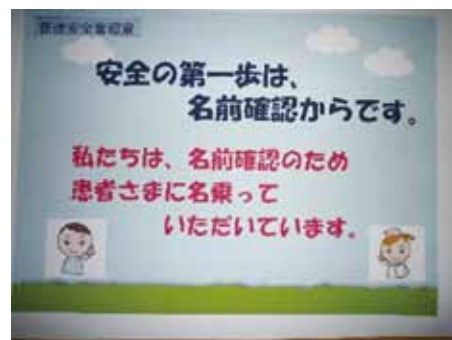
統括診療部長と検査技師長による  
インタビュー場面です

6月と11月は医療安全推進強化月間（週間）となっています。医療安全に関するポスターや標語の掲示を通して患者さんやご家族の方にもアピールし、院内では全部署の安全活動の取り組み発表を実施しました。安全ラウンドと同様に全部署の参加を促すことで、神奈川病院の医療安全活動の推進につながっています。

「安心・安全な医療」を提供するためには、患者さんを中心としたすべての職種の人たちによる連携がとても重要になってきます。私たちが目指すところは『患者さん参加の医療安全』です。中央廊下の掲示板に掲示してある安全標語にもあるように、医療の安全の第一歩は患者さんの名前確認からはじまります。外来では採血するときや放射線科でレントゲン写真を撮る時、点滴を受ける時等に「お名前をフルネームで教えてください。」と、まずお名前を名乗っていただき、その患者さん本人であることを確認させていただいています。入院患者さんの場合にはリストバンドを装着していただくことになっており、リストバンドでの名前確認も行っています。また、輸血するときの血液型や点滴ボトルの名前、内服薬などは患者さんと一緒に確認させていただいています。

高度医療が進むなか、現場でのエラー要因はたくさん存在しています。

ヒューマンエラーを防止し安全な医療が提供できるように患者さんご自身から医療安全に参加していただくことで、更に医療現場の安全性を高めることができると考えています。





菜の花のつぼみと花茎、若葉をなばなといいます。冬から早春にかけて旬をむかえ、独特のほろ苦さとみずみずしい食感、香り、彩りが特徴で、ひと足早く春の訪れを告げる緑黄色野菜です。お浸しや和えもの、煮びたし等の和風のおかずはもちろん、中華風の炒め物や、洋風の Pastaソース等にもよく合います。

**美味しいなばなの選び方**

- ・つぼみがかたくしまっていて、花の開く前のもの。
- ・葉や茎の色が鮮やかな緑色で、みずみずしいもの。
- ・茎はピンとして、太いものがよい。

**なばなのゆで方のコツ**

葉がやわらかいわりに茎がしっかりとしたものが多いため、葉先の部分と茎とを分けて別々にゆでるとよいです。ゆで上がった後、すぐに冷水にとってから水気をしぼります。

**なばなの栄養と効能**

栄養価の高い緑黄色野菜で、β-カロテンはピーマンの約5倍、ビタミンCはほうれんそうの約3倍も含まれています。いずれも抗酸化作用があり、免疫力アップに効果があるといわれています。ビタミンB2、鉄、カルシウム、カリウム、食物繊維等の栄養素もバランスよく含まれているのが特徴で、高血圧ぎみの人や、貧血ぎみの人は積極的に食べてほしい食材です。

◆ミニレシピ  
～菜の花といかのスパゲッティ～



〈材料〉2人分

- |                  |     |                 |
|------------------|-----|-----------------|
| ・菜の花……………200g    | A { | オリーブ油…大さじ4      |
| ・いか(刺身用)……………70g |     | しょうゆ……………大さじ4   |
| ・スパゲッティ……………160g |     | 粉がらし……………小さじ1/2 |
| ・塩……………適量        |     |                 |
| ・ゆずの皮の千切り…適量     |     |                 |

〈作り方〉

1. 菜の花は根元を切り落とし、塩少々加えた熱湯で、さっとゆで、ざるに上げて手早く冷まし、2cmの長さに切って水気をしぼる。いかは細切りにする。
2. 鍋にたっぷりの湯を沸かして塩適量を加え、スパゲッティを入れて袋の表示時間よりも1分程短めにゆでる。途中ゆで汁50mlをとりわける。
3. 大きめのボウルにAを合わせてよく混ぜ、2のゆで汁と1を加えてあえる。ゆで上がったスパゲッティの湯をきって加え、ゆずの皮を入れてあえる。 「野菜まるごと大図鑑」から一部抜粋

# ○●看護師募集●○

当院では、外来患者さんや入院患者さんの皆様が、気持ちよく治療を受けていただけるよう、また、安心して入院生活が送られるよう、温かい気持ちで活動していただける方を募集しております

## ●給与（主要手当含む）

- ☆ 大学卒：243,600-
- ☆ 3年課程：234,000-
- ☆ 2年課程：225,300-

## ●休日・休暇

- ☆ 原則として4週間を通じて8休です
- ☆ 年次休暇 病気休暇 特別休暇  
(結婚 出産 夏季 子の看護等)

## ●諸手当（条件に応じて支給）

- ☆ 夜間看護手当  
3交替 準夜：3,500- 深夜：4,200-  
2交替 夜勤：8,600-
- ☆ 住居手当：1ヶ月当たり最高27,000-
- ☆ 交通費：1ヶ月当たり最高55,000-
- ☆ 業績手当：基本給等の3.95ヶ月分  
(支給日：6/30・12/10)
- ☆ その他：地域手当 扶養手当 時間外勤務  
手当等、給与規程に基づき支給

## ●看護師宿舎

- ☆ リース宿舎 エアコン・バス・トイレ・電気  
温水器・キッチン（IHコンロ）  
クローゼット・テレビドアホン  
オール電化

## ●お問い合わせ先

- 独立行政法人国立病院機構 神奈川病院  
電話：0463-81-1771  
担当：看護部または管理課庶務係

# ボランティア募集

国立病院機構神奈川病院では、外来患者さんや入院患者さんの方々が気持ち良く診療が受けられるように、また安心して入院生活が送られるように、暖かい気持ちで、活動していただける方々の参加をお持ちしております。

【活動内容】 外来の案内 病院内の案内 入院患者さんのお話し相手 楽器の演奏 歌・踊り お芝居など



【ボランティア受付】 庶務班長（内線 2110） / 地域医療連携師長（内線 8207）  
お気軽にお問い合わせ下さい！





# 各科診療担当医表

平成27年1月1日現在

科別		曜日	月	火	水	木	金	科別	曜日	月	火	水	木	金		
一般科	内科	総合内科	後町	前島	前島	前島	中島	一般外科	小児科系	小児科	萬木(晋)	萬木(暁) (9:00~)	佐藤	渡辺 (9:00~)	萬木(晋)	
		腎臓内科		前島	前島	前島					石井 (9:00~)	渡辺 (9:00~)			石井 (9:00~)	
		消化器内科	後町	鈴木(俊)		川島	中島			【予】渡辺 (14:00~)	【予】萬木(晋) (13:30~)	【予】萬木(暁) (14:00~)	予防接種 健診 (14:00~)			
	糖尿病内科			近藤 (9:00~)			【予】佐藤 (14:30~) 【第1のみ 15:00~]				【予】渡辺 (14:00~)					
	循環器内科	亀崎 野村(秀)	吉田 (9:00~) 岡本	松崎	亀崎 栗田 (9:00~)	野村(秀)	小児外科 【第2、4のみ】			平林 (13:00~)						
	呼吸器内科	大久保 浅野 (9:30~)	河合	八木 (9:30~)	布施川	大久保 新美 (9:30~)	特		結核・抗酸菌外来 【第2のみ】		米丸 (10:00~)					
	神経内科		植杉 (14:00~)			中山 (9:00~)	殊		肛門外来	伊東 (13:00~)						
	外科系	脳神経外科	木村	齋藤	堀口 (9:30~)	水谷			外	乳腺外来			鈴木(育) (14:00~)			
		外科 消化器外科	前田	鈴木(俊)		前田 【紹介制】 【予】櫻井 (13:00~)	伊東		来	てんかん外来 【第4のみ】					【予】杉山 (10:00~ ~11:00)	
		呼吸器外科	交代制	交代制	加勢田 根本 橋詰	交代制	杉浦		来	睡眠時無呼吸 外来		【予】荒木 (13:00~)				
整形外科		数枝木 (9:00~)	山本 【装具】 川上 (9:00~)	野尻 (9:00~) 白井 【奇数月の 第3のみ】	水野 (9:30~)	数枝木 (9:00~)	来	救命救急科			交代制					
泌尿器科		浅沼				川上 (9:00~)										
皮膚科			野村(尚) (9:15~)		古市 (9:30~)											

【担当医表の表記について】

- ① 括弧書き ( : ~ ) …診察 (開始) 時間
- ② 【〇〇のみ】…特定の診察日
- ③ 【予】…予約制



※担当医表に時間の記載がある日は、記載されている時間内の診療となりますのでご確認をお願いいたします。  
 ※整形外科の白井医師の外来診察は平成27年1月21日(水)で終了となります。

発行責任者：根本 悦夫 編集責任者：久米 俊・花井 より子 編集：広報委員会



独立行政法人  
国立病院機構

## 神奈川病院

〒257-8585 神奈川県秦野市落合666-1  
 TEL 0463-81-1771 FAX 0463-82-7533  
 URL <http://www.kanagawa-hosp.org/>